

# 総務教育常任委員会資料

(令和6年6月13日)

【件名】

・教員採用の現状等について

(教育人材開発課) …… 2

教育委員会

# 教員採用の現状等について

令和6年6月13日  
教育人材開発課

令和6年度教員採用試験結果、令和7年度教員採用試験に係る取組状況及び志願状況について、その概要を報告します。

## 1 令和6年度教員採用試験結果について

試験区分	採用予定数	志願者数		一次合格者数		二次欠席者数		A登載者数		A登載辞退者数		採用者数	
		県外出身	県外出身	県外出身	県外出身	県外出身	県外出身	県外出身	県外出身	県外出身	県外出身	県外出身	
小学校教諭	150	590	456	381	307	125	120	203	158	129	120	74	39
中学校教諭	40	334	203	107	66	19	15	49	30	22	22	28	6
高等学校教諭	45	243	96	107	44	17	13	37	8	6	5	38	3
特別支援学校教諭	25	96	70	64	46	16	15	23	16	13	13	10	3
養護教諭	10	115	72	36	25	2	2	15	8	4	2	11	6
合計	270	1378	897	695	488	179	165	327	220	174	162	161	57

※志願者数、一次合格者数及び二次欠席者数には志願・併願試験区分による重複の者を含む。

### (1) 結果分析

- 全体として270人の採用予定数に対して161人の採用者数。
  - 695人の一次合格者を出す、179人(26%)は二次試験を欠席（小学校教諭は381人に対して125人(33%)が二次試験を欠席）。
  - 327人の合格者（A登載者）を出す、174人(53%)はA登載を辞退（小学校教諭は203人に対して129人(64%)が辞退）。
  - 志願者は集めているが、県外出身者が65%（小学校教諭は77%）を占め、県外出身者は他県にも受験機会を確保している者がほとんど。
  - 特に辞退者が多数見込まれる小学校教諭及び特別支援学校教諭については、過去の実績から辞退者数を見込んだ合格者（A登載者）を算出しているものの、近年は想定を大きく上回る辞退者が発生。
    - 教員の質の担保が大前提であり、単に合格者（A登載者）を増やす対策は教員の質の低下が危惧される
    - 出身地や大学時の居住地が優先されるのは必然であり、全国的な教員不足で他県採用試験合格率も高い中、県外出身者の辞退者増はやむを得ない状況
- ※令和5年度教員採用試験（令和4年度実施）の全国の採用倍率が3.4倍と過去最低を記録する中、本県の採用倍率は5.4倍（全国4位）であり、相対的に志願者数は確保できているものと認識（R5.12.25文部科学省発表）。

### (2) 志願者確保に向けた広報活動

- 教員志願者の心に刺さるプロモーション活動を展開するため、新規採用教員のうち、県外新卒者を含む6人を「とっとり教採アンバサダー」として委嘱し、プロモーション活動への協力を依頼。
  - 鳥取県で教員になることの魅力等を志願者目線で情報発信
- 近県大学及びオンライン等での教員採用試験説明会の実施。
  - プレシーズン説明会（1～2月）及び実施要項説明会へのオンライン等参加者は延べ890人、大学を訪問した説明会は14大学で実施（令和7年度試験実績）
- ポスター及びリーフレットを教員免許状（普通免許状）取得可能な141大学に送付。
- 「とっとり教採アンバサダー」を活用したプロモーション動画の作成・配信。
  - プロモーション動画（短編）をYouTube広告に活用し、再生回数は10万回以上、長編は約1,600回程度の再生
  - Google検索エンジン、Yahoo!ディスプレイ等のインターネット広告等の活用
  - 「とっとり教採アンバサダー」からのメッセージ発信（公式Xへの投稿）を延べ18回

→志願者へのアンケート結果より、100%の志願者が何らかのプロモーション活動のメディアに触れた上で、本県へ出願

### (3) 試験実施方法、試験内容の工夫

○令和2年度教員採用試験（令和元年度実施）から段階的に関西会場での実施試験区分を拡大。

→令和6年度教員採用試験より、全試験区分を関西会場で実施

○試験問題の質を担保しつつ試験時間の短縮を図り、受験し易さを創出。

→第一次選考試験を半日（午後）で実施

※その他、小学校教諭の技能・実技試験におけるピアノ及び体育を廃止し、今日的な課題であるICT活用に関する技能・実技試験に変更等

## 2 令和7年度教員採用試験について

### (1) 新たな取組について

#### ○特別支援学校教諭の受験資格の緩和

・特別支援学校教諭を併願する場合に、特別支援学校教諭普通免許状を有していなくても（見込みを含む）併願可能とする。

→教育職員免許法附則第15により、小学校、中学校又は高等学校の免許状を有する者は、特別支援学校の相当する各部の教諭となることができる

→特別支援学校教諭普通免許状なく採用となった場合、採用後に鳥取県教育委員会が実施する認定講習等を受け、採用後3年を目途に特別支援学校教諭普通免許状を取得することを推奨

→志願者（併願者を含む）は77名増加

#### ○名簿登載者の辞退減少対策

・合格者（A登載者）発表後、鳥取県の教員になることや生活することなど、具体的なイメージを持ってもらうため、関西地区において、A登載者を対象とした相談会を複数回実施予定。

→人口減少社会対策課等と連携するとともに、「とっとり教採アンバサダー」にも協力依頼

### (2) 志願状況について

・別紙参照

※試験実施日程は他の都道府県が早期化した影響を受け、全国で4番目の実施。

・教員免許状授与件数の減少、他県の志願者数の減少の状況を考慮しても、一定の志願者を確保できているものと認識。

## 3 その他

・西日本において本県同様に、早期に教員採用試験を実施している高知県の志願状況は次のとおり。

→令和7年度の第一次選考試験は6月1日(土)に実施

	令和7年度		令和6年度	
	志願者数	前年比	志願者数	前年比
全試験区分	1,472人	△472人	1,944人	△342人
小学校教諭	563人	△188人	751人	△217人

・我が国の人口減少、生産年齢人口の減少等の現実を踏まえ、今後、教育の質を担保する上でも必要教員数を慎重に検討していく視点も必要。

【参考（令和6年4月12日公表総務省人口推計による）】

※R4. 10. 1～R5. 10. 1の間に日本人人口は83万7千人減少（△0. 69%）

※生産年齢人口は同期間に25万6千人減少（△0. 33%）（鳥取県の生産年齢人口は4, 013人減少（△1. 38%））

## 令和7年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験の志願状況

令和6年5月23日  
教育人材開発課

試験区分 ／ 教科（科目 等）	令和6年度								令和7年度								
	志願者数						採用 予定 数	志願 倍率	志願者数						採用 予定 数	志願 倍率	
	鳥取 会場	関西 会場	一次 免除 者	志願 者合 計	併願 者合 計	併願 含総 計			鳥取 会場	関西 会場	一次 免除 者	志願 者合 計	併願 者合 計	併願 含総 計			（併願 含総 計） 対前 年比
小学校教諭	142	360	32	534	56	590	150	3.9	<b>136</b>	<b>299</b>	<b>23</b>	<b>458</b>	55	<b>513</b>	<b>△77</b>	<b>150</b>	<b>3.4</b>
中学校教諭	140	147	31	318	16	334	40	8.4	<b>152</b>	<b>100</b>	<b>28</b>	<b>280</b>	11	<b>291</b>	<b>△43</b>	<b>50</b>	<b>5.8</b>
国語	13	17	1	31	4	35			15	13	1	29	2	31	△4		
社会	29	33	2	64	2	66			36	24	1	61	3	64	△2		
数学	21	37	4	62	4	66			22	19	1	42	2	44	△22		
理科	20	9	1	30		30			20	6	1	27	2	29	△1		
音楽	9	4	1	14		14			5	7	2	14		14	±0		
美術	4	1		5		5			1	2	1	4		4	△1		
保健	22	26	5	53	2	55			32	12	5	49	1	50	△5		
技術	1			1		1			2			2		2	+1		
家庭	3	4		7	1	8			2	3		5	1	6	△2		
英語	18	16	17	51	3	54	17	14	16	47		47	△7				
特別支援学校教諭	10	26	9	45	51	96	25	3.8	<b>26</b>	<b>24</b>	<b>6</b>	<b>56</b>	117	<b>173</b>	<b>+77</b>	<b>25</b>	<b>6.9</b>
養護教諭	50	62	3	115		115	10	11.5	<b>44</b>	<b>77</b>	<b>2</b>	<b>123</b>		<b>123</b>	<b>+8</b>	<b>5</b>	<b>24.6</b>
高等学校教諭	150	60	33	243		243	45	5.4	<b>129</b>	<b>61</b>	<b>23</b>	<b>213</b>		<b>213</b>	<b>△30</b>	<b>25</b>	<b>8.5</b>
国語	11	3	3	17		17			9	8	4	21		21	+4		
地理歴史（世界史）	4	6	2	12		12			4	3		7		7	△5		
地理歴史（日本史）	5	8		13		13			8	10		18		18	+5		
地理歴史（地理）	6	4	1	11		11			7	3		10		10	△1		
数学	28	10	2	40		40			26	5	2	33		33	△7		
理科（物理・地学）	6	1		7		7			4			4		4	△3		
理科（化学）	7	1		8		8			4	3		7		7	△1		
理科（生物）	7	2		9		9			5	4		9		9	±0		
保健体育	32	9	14	55		55			26	10	8	44		44	△11		
芸術（音楽）	4	2		6		6									△6		
芸術（美術）		1		1		1			2			2		2	+1		
芸術（書道）	3	1	1	5		5									△5		
英語	15	7	5	27		27			13	4	6	23		23	△4		
家庭	1		1	2		2			3	2	1	6		6	+4		
農業	7	1		8		8			2	2		4		4	△4		
工業（機械）			1	1		1			2	2		4		4	+3		
工業（電気・電子）	3	1		4		4			3			3		3	△1		
工業（建築・土木）	2			2		2			1			1		1	△1		
商業	3	3	2	8		8			4	3	1	8		8	±0		
水産（食品）	1			1		1	1			1		1	±0				
情報	5		1	6		6	5	2	1	8		8	+2				
栄養教諭							—	—	<b>17</b>	<b>11</b>		<b>28</b>		<b>28</b>	<b>+28</b>	<b>2</b>	<b>14.0</b>
総計	492	655	108	1255	123	1378	270	5.1	<b>504</b>	<b>572</b>	<b>82</b>	<b>1158</b>	<b>183</b>	<b>1341</b>	<b>△37</b>	<b>257</b>	<b>5.2</b>

※令和7年度小学校教諭における採用予定数には、特別選考V「英語力に優れた者を対象とした小学校教諭選考」の別枠5人程度を含みます。